

水子貝塚関係事項年表

紀元前 4000 年頃	大規模な環状集落として繁栄
明治 27 年 (1894)	阿部正功 (マサコト) 氏が、10 月 25 日に水子貝塚を発見。
大正 6 年 (1917)	安部 (アンベ) 立郎氏が“遺跡”として水子貝塚を再発見する。
昭和 12 年 (1937)	酒詰仲男氏が“貝塚”として水子貝塚を再発見する。
昭和 13 年 (1938)	12 月 東京考古学会縄紋式部会が初めて発掘調査を実施する。
昭和 14 年 (1939)	10 月 東京帝国大学人類学教室が人類学会の遠足を兼ねて発掘調査を実施。
昭和 17 年 (1942)	古代文化学会「関東縄紋式文化各期標準的遺跡調査報告表」で“水子期”が提唱される。
昭和 18 年 (1943)	杉原荘介『原史学序論』の編年表に“水子式”が記載される。
昭和 25 年 (1950)	江坂輝弥氏が“水子式”を解説する。
昭和 42 年 (1967)	富士見町教育委員会が発掘調査を実施。
昭和 44 年 (1969)	9 月 9 日付けで国指定史跡に指定される。 パンフレット『国指定史跡水子貝塚 (大応寺前貝塚) —5000 年前の私たちのふるさと』発刊。
昭和 45 年 (1970)	水子貝塚保存会発足。水子貝塚土地公有化事業を開始する。
昭和 46 年 (1971)	水子貝塚仮整備計画事業を水子貝塚保存会に委託する。
昭和 48 年 (1973)	富士見市立考古館開館
昭和 52 年 (1977)	『水子貝塚保存管理計画』策定事業を開始。(航空測量による地形図作成・貝層の分布調査)
昭和 54 年 (1979)	『水子貝塚保存管理計画策定報告書』発刊。
昭和 57 年 (1982)	『文化財シンポジウム —わたしたちのくらしと史跡—』を開催し、資料集を発刊する。
昭和 58 年 (1983)	『文化財シンポジウムの記録 —わたしたちのくらしと史跡—』(記録集)を発刊。 パンフレット『水子貝塚』を発刊する。
昭和 59 年 (1984)	『水子貝塚保存整備基本計画』事業(試掘調査・貝層分布調査・花粉分析)を実施する。 『史跡水子貝塚保存整備基本計画基礎調査報告書』発刊。 『埼玉県民が選ぶふるさとさいたま 100 選』10 位に入選する。(入選祝賀会を開催) 市教委主催で“水子貝塚史跡公園づくりを考える市民学習会”開催される。
平成 元年 (1989)	市民有志による地域シンポジウム「遺跡の街、富士見」、水子貝塚まつりが開催される。
平成 3 年 (1991)	専門調査委員会が発足し、整備計画の検討を開始。発掘調査着手。 文化庁の史跡等活用特別事業の採択をうけて環境整備事業に着手。
平成 4 年 (1992)	水子貝塚保存会がシラコバト賞受賞。人骨・犬骨が出土する。発掘調査を終了する。
平成 6 年 (1994)	水子貝塚公園が竣工し、6 月 1 日に“縄文ふれあい広場”としてオープン。水子貝塚まつり開催。
平成 7 年 (1995)	建設省「手づくり郷土賞 ^{ふるさと} 」受賞。
平成 8 年 (1996)	第 1 回星空シアター開催。
平成 10 年 (1998)	考古館を現在地に移転。
平成 12 年 (2000)	考古館を水子貝塚資料館に改称、市民学芸員活動開始。
平成 14 年 (2002)	南駐車場竣工。
平成 16 年 (2004)	開園 10 周年記念展示「水子貝塚の 6000+10 年」を開催。
平成 19 年 (2007)	「日本の歴史公園 100 選」に入選。
平成 26 年 (2014)	開園 20 周年記念関連行事開催(児童絵画展・水子貝塚まつり&星空シアター・熱気球の係留フライト&野外コンサート)。

※「史跡水子貝塚環境整備事業報告書／富士見市教育委員会」(1994 年発行)などをもとに作成